

## 数字で見る大阪経済のツボ

大阪シティ総合研究所の専属スタッフが  
 さまざまな経済指標にスポットをあて、  
 大阪経済の現状を分かりやすく解説します。

2023年8月

### 大阪府の完全失業率と有効求人倍率について

大阪府の2022年平均の完全失業率は3.1%で、前年比0.4ポイント低下しました。大阪府の失業率は、コロナ禍前の19年（2.9%）から20年の3.4%、21年の3.5%と上昇していましたが、3年ぶりの改善となりました。失業者数は15万1千人で前年より1万7千人、率にして10.1%減少しました。コロナ禍からの経済活動の再開により、雇用環境は上向いています。

大阪府の失業率は、全国平均と比較しますと恒常的に高い傾向にありますが、22年は全国の都道府県のなかで北海道（3.2%）と沖縄県（3.2%）に次いで高い水準となっています。

完全失業率の推移

	(%)	
	全国	大阪府
2009年	5.1	6.5
2010	5.1	6.9
2011	4.6	5.1
2012	4.3	5.4
2013	4.0	4.8
2014	3.6	4.5
2015	3.4	4.2
2016	3.1	4.0
2017	2.8	3.4
2018	2.4	3.2
2019	2.4	2.9
2020	2.8	3.4
2021	2.8	3.5
2022	2.6	3.1

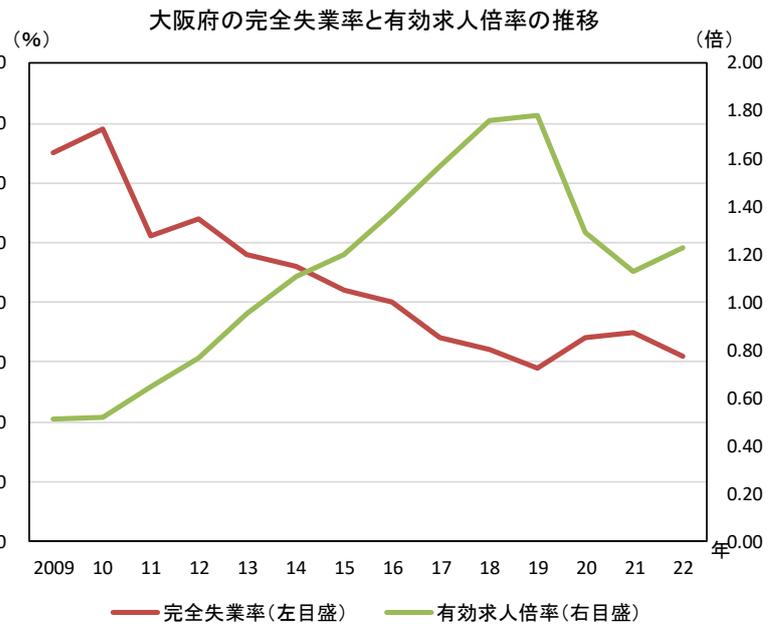
	(%)				
	東京都	神奈川県	埼玉県	愛知県	福岡県
	4.7	5.0	4.9	4.6	5.7
	5.5	4.9	5.2	4.3	6.0
	4.8	4.5	4.7	3.6	5.6
	4.5	4.4	4.4	3.7	5.2
	4.2	3.9	4.1	3.2	5.0
	3.8	3.4	3.5	2.7	4.5
	3.6	3.3	3.2	2.5	4.1
	3.2	3.1	3.1	2.4	3.5
	2.9	2.7	2.8	2.4	3.3
	2.6	2.3	2.4	1.7	2.9
	2.4	2.1	2.2	1.8	2.9
	3.1	2.8	2.9	2.5	3.1
	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0
	2.6	2.8	2.7	2.0	2.9

【資料】総務省「労働力調査」

次に、大阪府の有効求人倍率をみますと、2022年平均は前年比0.10ポイント高い1.23倍となりました。コロナ禍で下落が続いたものの、社会経済活動が本格的に動き出したことを反映し、3年ぶりに上昇しました。ただ、コロナ禍の影響を受ける前の19年（1.78倍）の水準には至っていません。

有効求人倍率の推移 (倍)

	全国	大阪府
2009年	0.47	0.51
2010	0.52	0.52
2011	0.65	0.65
2012	0.80	0.77
2013	0.93	0.95
2014	1.09	1.11
2015	1.20	1.20
2016	1.36	1.38
2017	1.50	1.57
2018	1.61	1.76
2019	1.60	1.78
2020	1.18	1.29
2021	1.13	1.13
2022	1.28	1.23



【資料】厚生労働省

以上